



ニイハオ 休好

5



嘉興市



結婚を夢見る女性

青年の結婚観

結婚は国を問わずヤングの関心事で、中国の法定結婚年齢は、男22歳、女20歳です。結婚のスタイルは日本同様、自由恋愛（恋愛結婚）と紹介人と呼ばれる仲人による見合結婚があり、自由恋愛は3～4割です。

文化革命期（1966～1976）に、農村に下った青年が多かったことから、男女とも婚期を逸した人が多く、一種の社会問題となっています。そのため、自治体で結婚相談所の窓口を設けています。

結婚条件は女性から男性には、知識・教養・誠実さなどが求められ、男性から女性には、誠実さ・聡明さ・家計のやりくり・美しさなどが求められています。

また、女性は結婚しても姓は変わりません。

若者のデートやレジャーは、映画・サイクリング・スポーツ（卓球やバドミントンなど）・公園での語らいなどです。



柚木のお天白さん

駅北地区の柚木に天白神社があります。地元の人たちは「おてつぱくさん」と呼んで、毎年九月にはお祭りをやっています。

天からお米が

昔はこの家でもおじいさんやおばあさん、子供も手伝って家中みんなで農業をやっていました。ある年、柚木村の初穂田という田んぼに、とっても大きな米粒が三粒、天から降ってきました。米粒の大きさは、長さ一寸八分といいますが、今でいう約六粒ほどになります。

村の人たちは

「不思議なことがあるもんだ」

「きつと、この土地はお米の神様と関係があるに違いない」

と米粒の一つを祭って、天白神社と名付けた社を建てたそうです。

そして残りの米粒は、米之宮浅間神社と出雲大社に奉納したという事です。

天白池や古井戸も

天白神社は、柚木公会堂の隣りにあります。今はなくなりましたが、昔は境内に天白池という名の大きな池や古井戸もありました。

飛行機松

大きな池や古井戸もありました。柚木村の人たちは、この井戸をつい最近まで生活用水として利用していたそうです。今は、天白神社だけが残り、池があつたあたりは家が建ち、道ができてしまっています。

また、昭和七年まで境内には、飛行機松と呼ばれた松の木がありました。柚木の渡辺一見さんと佐野正三さんは、この松について

「飛行機松っていうのは、飛行機のように枝が広がっていて大きな松の木だったんで、そう呼ばれてたんだよ。大人が四人がかりでないと手が回らないほど太い松だったね。なんでも、富士山の三合目からも見えたそうだよ」と話してくれました。



写真左から佐野さん、渡辺さん

地名の由来

一色 (神戸地区)

▽一色に広がる茶畑



一色村は、今宮村・神戸村とともに今宮浅間神社の封戸でしたが、東泉院が今川義元から天文十六年（一五四七）五社別当に任命されたことによって同院の寺領村になりました。

一色というのには「種類の税」という意味もあるので、この村は何か一種類の年貢しか納めなかったから一色村としたのかも知れません。明治二十二年、今泉村と合併して大字一色となりました。

こちら編集室

表紙で紹介した「ミス茶娘コンテスト」。ミス茶娘に選ばれた小野田ちよりさんは、うれしさとともにどろどろと涙が交錯してか、涙の連続。審査のときに見せてくれたステキな笑顔は見せてくれませんでした。皆さん、写真よりもっともっと美人ですよ。1/5号の「地名の由来」で、十一行目の郡衛は郡衛の誤りでした。おわびして訂正します。